

# 地歴 問

## 地理歴史等

24 年 度

注 意

1. 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。
2. 問題は1冊(本文25ページ、下書用紙2枚)、解答用紙は1枚である。下書用紙は問題冊子の中にはさみこんであるので引き抜いて使ってよい。なお、問題冊子と下書用紙は持ち帰ってよい。
3. 全部の解答用紙に受験番号を書くこと。受験番号は次の要領で明確に記入すること。

(例) 受験番号50001番の場合 → 

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---

4. 1) 世界史, 2) 日本史, 3) 地理, 4) 倫理, 政治・経済, 5) ビジネス基礎, 以上5科目のうちから1科目を選んで答えよ。さらに選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書くこと。

(例) 2) 日本史を選んだ場合 → 

				2
--	--	--	--	---

5. 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書くこと。他の所に書くと無効になることがある。字数などの指示がある場合は、その指示にしたがって書くこと。字数制限がある場合、洋数字およびアルファベットにかぎり、1マスに2文字入れることができる。句読点は、1マスに1文字とする。問題番号にも、1マスを使用すること。例えば問1ならば1と書けばよい。

## 世 界 史

- I 1598年のナント勅令(王令)の公布は、16世紀後半のフランスで30年以上にわたって続いていた長い戦乱を終結させた出来事として有名である。では、この勅令(王令)公布に至るまでの経緯はどのようなものであったのか、またその目的は何であったのかを、当時の政治状況および宗教問題に焦点を当てながら説明しなさい。(400字以内)

II 次の宣言は、1943年10月に出されたものである。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

アメリカ合衆国、連合王国、ソヴィエト連邦および中国の政府は、各国が1942年1月の連合国による宣言、およびその後の諸宣言に従って、四力国がそれぞれ交戦状態にある枢軸諸国に対する戦争を、枢軸諸国が無条件降伏を基礎として降伏するまで継続するという決意において結束し、四力国自身及び四力国と同盟を結ぶ人々を侵略の脅威から解放することを保障する義務を自覚し、戦争から平和への迅速で秩序ある移行を確保し、且つ、世界の人的及び経済的資源が兵器のために流用されることを最小限にしながら国際的な平和と安全を確立・維持する必要を認め、以下のように共同で宣言する：

1. 各自の敵国に対する戦争遂行のために誓約された四力国の共同行動は、平和と安全を組織化し維持するために継続される。
2. 四力国のうち共通の敵と交戦状態にある国は、その敵国の降伏及び武装解除に関する全ての事項について共同で行動する。
3. 四力国は、敵国に課される条件の違反に対して、必要と認める全ての措置をとる。
4. 四力国は、全ての平和愛好国の主権平等の原則に基づき、且つ、そのような大国小国の全てが参加し得る、国際的な平和と安全の維持のための一般的国際機構を、実現可能な限り早期に設置する必要性を認める。

(以下略)

問い この宣言の名称を答えなさい。ところで20世紀には、この宣言で打ち出された目的を実現するための国際機構を作る試みが二度行われている。どのような国際機構が設立されたのか、またそれらはどのような問題に直面したのか、20世紀の国際関係の展開をふまえながら論じなさい。その際、次の語句を必ず使い、用いた語句に下線を引きなさい。(400字以内)

総力戦 安全保障理事会 イタリア 冷戦 PKO\*

\*PKO = 平和維持活動

Ⅲ 次の文章は、1820年代初頭に植民地官僚ラッフルズが彼の母国イギリスとアジアとの交易について述べたものである。これを読んで、問1、問2に答えなさい。

私がイギリスの国旗をかかげたとき、その人口は二百人にも達しないほどでした。三ヶ月のうちに、その数は三千人に及び、現在は一万人を越えております。主としてシナ人であります。最初の二ヶ月のあいだに主として原住民の色々な種類の船が百七十三隻も到着したり、出帆したりしました。それはすでに重要な商港となったのです。

(中略)

それは積極的にオランダからは何も奪いませんが、しかも、私たちにとってはすべてであります。それは、私たちにシャム・カムボチャ・コーチシナその他とともにシナおよび日本に対する支配をあたえます。……この港を通じてシナへイギリスの綿製品を導入することに関して観察なさっていることは、一つの非常に重要な問題であります。……インドが充分廉価に製造することができなくても、イギリスはそうすることができます。……私はシナの大部分がイギリスの綿製品をつけないという理由を見出すことはできません。……イギリスにおける東インド会社とシナにおける<sup>ホン</sup>行商人の独占は、私たちの船舶や広東港における公正な競争といったようなものの観念を排除しております。……(A. )においてすべての目的は達せられるでしょう。……シナ人自身が(A. )にやってきて購買します。彼らは<sup>ホン</sup>行商人の制限や着服なしに広東の色々な港に輸入する手段をもっております。シナの多くの総督は自分で秘密に外国貿易に従事しており、(A. )は、自由港として、かようにしてヨーロッパ・アジアおよびシナの間をむすぶ環となり、偉大な集散地となるのです。事実、そうなっています。

(信夫清三郎著『ラッフルズ伝』より引用。但し、一部改変した。)

問1 文中の(A. )に入る地名を答えなさい。ところで、ラッフルズは、(A. )における貿易の自由がアジアの物流を一変させると考えていますが、この思想との対比において、イギリスの東南アジアにおけるその後の政治的経済的活動の展開を述べなさい。(200字以内)

問2 この時期の、ヨーロッパ諸国に対する清朝の交易体制について説明したうえで、その後の同国の交易体制の変化について述べなさい。(200字以内)